



櫛紅葉 (はぜもみじ)

発行：令和6年4月22日（月）（文責） 校長 田中 克三



※今年度もどうぞよろしくお願いいたします。学校ホームページでもご覧になれます。QRコードはこちら→

挑戦の令和6年度、爽やかにスタート！

令和4・5年度に引き続き、みやき町立中原中学校の校長を務めます田中克三（たなか かつみ）と申します。3月には60名の卒業生が学び舎を巣立ち、9名の先生方とのお別れもありました。少し寂しさと不安を感じていましたが、4月8日（月）始業式・着任式では、一つ学年が上がった2・3年生の自覚とやる気に満ちた表情を見ることができ、気持ちも新たに良いスタートを切ることができました。また、新しく本校に着任した職員も全員、意欲と使命感にあふれ、早速子どもたちのために業務を着々と進める姿を見て心強く感じているところです。私自身、3年目ということで、これまで手が届かなかった課題にも挑戦していけたらと考えております。これまで以上に生徒のため、保護者・地域のため、職員のために尽力して参ります。よろしくお願いいたします。ところで、この「学校だより」の右上にも示していますが、今年度の学校教育目標を、

「ふるさと中原と共に輝く志をもった生徒の育成
～自律・協働・挑戦をキーワードとした学校づくりを通して～」



としました。

始業式では、生徒の皆さんにこの目標を示した上で、その目標に込めた思いを「育成したい生徒の7つの姿」として、以下のように説明しました。このことを意識して、日々成長してほしいと願っています。職員一丸となり、教育活動に全力を注いでいく所存ですので、保護者や地域の皆様には、これまで同様、御理解と御協力、御支援を賜りますようお願い申し上げます。

- 地域の伝統・魅力、学校の誇りを大切にしながら、未来を拓く姿
- 夢や目標をもち、なりたい自分を目指して、粘り強く努力し続ける姿
- 自分だけでなく、身近な人、周りの人も楽しく幸せな気持ちであることを目指し行動する姿
- 感情をコントロールし、状況を考え、誠実な心の声に従って行動を自己決定していく姿
- 互いの個性と得意分野を生かし、心と力を合わせて物事を行う姿
- 困難な課題を解決・克服するために、「無理」という前に何かできないか知恵を絞り、努力を重ねる姿
- 未経験の物事にも好奇心をもって、自分自身の新たな成長のためにチャレンジする姿



【今年度の職員構成】 ◎は学年主任、☆は今年度着任、（ ）内は教科等

1年	2年	3年
1組担任◎ (英語)	1組担任 (国語)	1・5組担任◎ (理科)
1組担任 (国語)	1組担任 (保体)	1・5組担任 (保体)
2組担任 (数学)	2組担任☆ (社会)	2組担任 (英語)
2組担任☆ (社会)	2組担任 (美術)	2組担任☆ (数学)
3組担任 (家庭)	4組担任◎ (音楽)	学年スタッフ☆ (技術)
学年スタッフ (養護)	学年スタッフ☆ (数学)	〃 (社会)
〃 ☆ (SSS)	〃 ☆ (理科)	
級外		
・校長	・教頭 (数学)	・教務 (理科)
・事務 ☆	・ST後補充 (理科)	・初任研 ☆ (社会)
・中ITT (数学)	・中ITT (英語)	・ALT ☆
・事務補	・司書補	・用務員
・ICT支援員	・SC	・SSW

※SC：スクール・カウンセラー、SSW：スクール・ソーシャル・ワーカー、SSS：スクール・サポート・スタッフの略

入学おめでとうございます！

～4/11 令和6年度 入学式～

4月11日(木)、コロナ5類移行後ということで、久しぶりに参加制限のない形で令和6年度の入学式を挙行いたしました。

真新しい制服に身を包んだ**75名**は、多くの保護者及び関係者の皆様に見守られながらやや緊張気味に入場。担任からの呼名に元気に返事をして、中学生としてのスタートを切りました。ここ数年、新入生総数が60名程度の年が続いていたため、たくさんの新入生を迎え入れることができ、一気に学校に活気が出てきたように感じました。

新入生の皆さん、入学おめでとうございます！



【新入生代表の誓いのことば】

春の芽吹きを感じる今日、私たちはこの中原中学校に入学します。これからの新しい生活への大きな期待を胸に、新たな一歩をふみ出します。

これから私たちは、協力、行動、安全という三つの目標を守り、生活したいと思います。

「協力」…これから出会う先生方、先輩方、そして友達、たくさんの人と協力し、学習や部活動、生徒会活動に一生懸命取り組みます。

「行動」…初めてのことも多い中学校生活ですが、何事にも積極的に挑戦します。そして、自分が何ができるのか、何が求められているのかを考え、進んで行動に移します。

「安全」…中学生として、自分の行動に責任をもち、学校の規律を守り、安全な学校生活を送ります。

この三つを心に留め、中原中学校で、努力をおし、自分の役割に責任をもち、夢の実現に近づけるように、日々の学校生活を大切に過ごすことを誓います。

新たな生活の期待でいっぱいの私たちですが、初めての部活動、小学校よりも難しくなる学習などに不安も感じています。不慣れなことをご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、先生方、先輩方ご指導よろしくお願いたします。ご指導についていけるように精一杯がんばります。

どうぞよろしくお願いたします。

令和6年4月11日 新入生代表



全学年、「チーム担任制」を導入しています

表面の【今年度の職員構成】に示しているとおり、今年度、本校では、1つの学級に担任を複数配置する「チーム担任制」を導入しています。



【入学式後の学級開きで分担して説明する2名の担任】

「チーム担任制」をとる理由(メリット)は、主に次のような点です。

【生徒・保護者にとって】

- ①複数の教員で多面的に学級の一人一人の生徒を見るため、小さな変化、トラブルの予兆に気づきやすくなるとともに、多様な見方で受けとめ、対応することができる。
- ②複数の教員と関わる事によって、「話しやすい先生」「気が合う先生」を見つけやすくなり、教育上の相談を一人固定の担任だけでなく、複数の担任から選んで相談することができる。
- ③保護者からの相談も複数の窓口があることで、より迅速な対応ができ、事案の深刻化を防ぐことにつながる。

【学校・教師にとって】

- ①教員同士が日常的に連携していくことで、互いに指導技術を学ぶ場となり、教員としての資質向上を図ることができる。
- ②業務を分担することにより一人一人の負担が減り、教員の勤務体制の改善や「働き方改革」につながる。
- ③教員の得意分野を生かし、工夫し合う仕組みができ、教員自身の学校運営・学級経営への参画意識が向上し、学校全体の教育力の向上や魅力的な学校づくりにつながる。

実は、2クラスを学年職員全員で交代して担任するやり方が真の意味での「チーム担任制」であり、そこまでは至っていません。まずはこれまで行っていた「担任・副担任制」に似た「2人組のチーム担任制」を導入することにより、このシステムに慣れ、可能性を広げていけたらと考えています。

また、上述したメリットに対して、既に導入した学校では、「誰が担任(相談相手)なのかははっきりしない」「教員間での情報共有に手間がかかる」などのデメリットも課題として挙げられています。こうした課題も今後検証し、「何のためのチーム担任制か」ということを大切にしながら、進めていきたいと考えています。